



今月のテーマ 「お風呂であったまろう」

2月6日は風呂の日です。

暖冬と言われる今年の冬ですが、それでもやっぱり冬は寒い！

寒い冬は温かいお風呂につかって、のんびりリラックスしませんか。

今回はお風呂に関する本を集めました。自分に合ったお風呂の入り方を見つけて、寒い冬を乗り切りましょう。

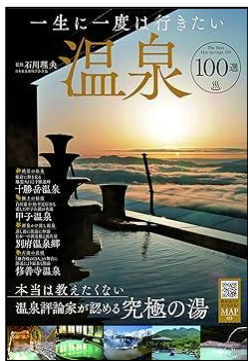
『一生に一度は行きたい温泉』

石川理夫／監修 宝島社

291.0

日本全国にある、文字どおり一生に一度は行きたいと思える究極の温泉100か所を厳選して紹介しています。

温泉と温泉地の紹介に特化しているため、旅行雑誌とは違った発見があるはず。旅行の計画の際に手にして欲しい一冊。



『睡眠美容のすすめ』

岩本麻奈／著 西村書店

498.3

入浴により質のいい睡眠を手に入れましょう。質のいい睡眠は自律神経のバランスを整え、血流の促進につながります。

今すぐ取り入れられることから、いつもの習慣を少し変えるだけの美容法まで満載です。



『入浴は究極の疲労回復術』

早坂 信哉／著 山と溪谷社

498.3

20年にわたり、3万人の入浴データを検証してきた温泉療法専門医の筆者が、入浴がいかに優れた健康法かを語ります。

お風呂を楽しむ方法から注意する点まで、幅広く紹介。この本を参考に、毎日のお風呂をもっと楽しくしてみませんか。



新しい本

が入りました



タイトル	著者名	分類	所蔵館
不完全な司書	青木海青子	016	吉良
ごきげんようみんなの人生	広海深海	159	幡豆
恋愛キャラ図鑑	秋山剛	152	西尾
平安時代の絵辞典	—	210.3	一色
人が働くのはお金のためか	浜矩子	366	西尾
精神科医が教える幸せの授業	樺沢紫苑	498.3	吉良
家時間	内田彩仍	590	西尾
鉄道ダイヤのつくりかた	富井規雄	686	西尾
推す力	中森明夫	767	西尾
世界一楽しい！ソロキャンプ 100のこと	伊豆のぬし釣り	786	幡豆
じつは伝わっていない日本語大図鑑	山口諺司	814	一色
入門山頭火	町田康	911.36	西尾
ジョ二黒	永井みみ	F	西尾・吉良
ラストエンペラー	楡周平	F	西尾

本館の展示コーナーのご案内

1階「まだまだ寒いからお風呂であったまろう」(ロビー)

「祝岩瀬文庫開館20周年 岩瀬文庫を振り返る」
(ロビー奥の郷土関係)

2階「2/6は抹茶の日」(カウンター東の表面)

「異世界へようこそ」(カウンター東の裏面)

3階「国宝を知る本」(展示ケース)

「この本、電子書籍でも読めます」(学習室入口)



図書館講演会 茨城のり子さん からのメッセージ

西尾市にゆかりのある詩人茨木のり子。その作品や生き方を通してのり子さんが伝えたかったメッセージを紐解いていきます。

令和6年 2/18[日]
PM2:00~3:30[開場 PM1:30]

◇場 所/西尾市立図書館 会議室

◇講 師/石川雅春氏

◇定 員/60人(抽選)

◇対 象/中学生以上

◇参加費/500円(当日支払)

◇申込み/2/4(日)まで西尾市立図書館もしくは
電子申請にて受付。電話での申込みも可。



電子申請・
届出システム

古典文学講座 紫式部と 魅惑の源氏物語

今年の大河ドラマ「光る君へ」の主人公紫式部。「源氏物語」はどのように執筆され、千年にわたり読み継がれてきたのか。その背景と、「源氏物語」の魅力について解説します。

令和6年 3/14[木]
PM1:30~3:30

◇場 所/西尾市立図書館 会議室

◇定 員/30人(抽選)

◇講 師/吉川美穂氏(徳川美術館 学芸部 学芸部長代理)

◇申込み/2/10(土)から2/25(日)まで西尾市立図書館
もしくは電子申請にて受付。電話での申込みも可。



電子申請・
届出システム

★新しい電子書籍が73冊入りました★

「メメントモリ」ヨシタケシンスケ/著 KADOKAWA

「下剋上球児 三重県白山高校、甲子園までのミラクル」

「やせる部屋」清水理恵/著 飛鳥新社 など



にしお電子図書館



2月の図書館カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3 おはなし会	4 おはなし会
5	6	7 おはなし会	8 おはなし会	9	10	11 建国記念日🇯🇵
12 振替休日🇯🇵	13 おはなし会	14 おはなし会	15 館内 整理日	16	17 おもちゃ病院 おはなし会	18 図書館講演会
19	20	21 おはなし会	22 おはなし会	23 天皇誕生日🇯🇵	24	25
26	27 おはなし会	28 おはなし会	29			

※ は休館日

寺津ふれあいセンター(寺津配本所)の 本の入替による利用停止のお知らせ

寺津配本所の本の入替作業のため、
下記の期間図書館の本と学習スペースが利用できません。

【利用停止期間】

令和6年2月6日(火)~8日(木)

館長のおすすめ本

『千鳥舞う』葉室 麟/著 徳間書店 F

主人公の女絵師春香(里緒)が「博多八景」の屏風絵を描く過程が主な内容ですが、芸術と恋愛を描いた時代小説で、特に悲哀と苦悩が心を痛める傑作です。

私自身歌川広重の浮世絵が好きで、彼の名作「近江八景」の場面を思い浮かべながら拝読しましたが、彼女が描いた「博多八景」は絵を見ずともその素晴らしさが伝わってきます。

春香が「博多八景」を描こうと巡り歩いたそれぞれの景勝地で出会ったのは、さまざまな悲しみであり、彼女が描いた絵には出会ったすべての人の想いがこもっていることが感じられます。春香の恋の結末も感涙。お薦めの一冊です。